

# 秋山みつあき県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

## 成田空港と館山結ぶ高速バス運行へ

### 旅行客誘致に積極的PRを!



予算委員会でパンフレットを示して質問する秋山県議

の外国人旅行客を誘客するため環境づくりを行う絶好の機会とも言えます。

今回の実証実験は、県内の各自治体も大変期待しており、地方創生の目的である各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生するためにも、ぜひこの事業を成功させてい

館山市選出で、県議2期目を務める秋山光章(あきやま・みつあき)県議は、任期最後となった2月定例県議会の予算委員会に登壇し、平成27年度の県予算から、館山市・安房地域に関連する諸問題を取り上げました。このうち、新年度から地方創生のための交付金を活用して行われる成田空港と館山・鴨川を結ぶ高速バスの実証運行について、地域の持続的発展のためにも、この事業をぜひ成功させるよう、強く訴えました。観光事業だけでなく、自然災害に立ち向かう地域農業に対しても、力強く支援する質問を展開しました。

秋山委員 今回、国の地方創生の交付金を活用して、成田空港と館山・鴨川・銚子の観光地を結ぶ高速バ

### 2月県議会予算委員会で質問

ただきたいと考えています。そこでまず伺います。「成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業」を成功させるためには広報が必要と思うが、どのように行うのか。

交通計画課長 委員ご指摘の通り、広報活動が非常に重要であると考えており、成田空港国内線の就航先等を中心に、バスの目的地や経由地の観光PRと合わせて広報したいと考えています。

交通計画課長 JR東日本の発表によると、特急料金なしで乗れる



新たに特別快速が運行される館山駅

特急さざなみが廃止へ 新たに特別快速を運行

また、県内各地から成田空港への利用も促進できるよう、沿線自治体の協力を得ながら、県内外に幅広く周知してまいります。

秋山委員 3月14日のJR東日本のダイヤ改正では、特急さざなみがすべて君津止まりとなるなど、私の地元である館山市をはじめとした南房総地域にとっては、非常に厳しい内容となっています。日本の駅百選に選ばれている素晴らしい館山駅に、特急が1本も発着しないなんて到底考えられません。

特別快速が、総武快速線を経由して、朝に東京発館山行き下り、夕方に館山発東京行き上りの1往復が平日のみ運行されるということです。

秋山委員 特別快速は、館山を朝出発するものや、夕方東京から帰ってくる通勤電車を短くして、館山からでも千葉、東京へ通えるような快速の増発を求めたいと思うが、どうか。

交通計画課長 特別快速については、乗車人員の状況にもよりますが、地元市町による今後の利用促進活動等も踏まえ、JR東日本に対し働きかけを行うてまいりたいと考えています。

●県政や館山市のご相談、ご意見を聞かせてください

秋山みつあき 県事務所

〒294-0045 館山市北条2570-11 SKビル101 TEL.0470-23-5252 FAX.0470-23-5251

速について、すでに沿線自治体からは、沿線の住民が利用しやすい通勤通学時間帯に合わせた列車の設定など、運行される前ではあります。増発の要望があると聞いています。



# 地域の持続的な創生に向けて

## 自然災害による農業被害対応

**秋山委員** 県内では、昨年の台風26号や昨年2月の大雪など、自然災害により甚大な農業被害が続けて発生しています。私の地元である安房地域でも、昨年10月の台風18号により、局所的ではありましたが、ビニールハウスの倒壊やガラスハウスの破損、農産物の塩害など、大きな被害が発生したところです。

よる農業指導のほか、県単農業災害対策資金による低利の融資などの支援を行ってきたところです。

また、農業共済制度についても、補償内容等を分かりやすく説明したリーフレットを作成し、加入促進を図っているところです。

**秋山委員** 県単独事業の低利融資は、広域的な被害しか対象にならないと聞いていますが、過去10年間の発動状況はどうか。

**団体指導課長** 県単農業災害対策資金は、複数市町村にわたり、農業施設と農作物の合計で概ね10億円以上の被害が発生した場合に発動することとしており、過去10年間で4回発動したところです。

**農林水産部長** 自然災害により被害を受けた農家に対しては、普及指導員に

**要望** 県の支援策である低利子融資が発動されるための被害額の算



上:ビニールハウスが壊れたいちご畑。下:手前の畑にあったハウスが風で飛び、道の向こう側の電柱を倒している。

定を、残存価格でなく、再取得価格で行っていることは、現状に即した対応だと思っています。

## プレミアム付き宿泊券

**秋山委員** 「千葉宿泊・観光優待キャンペーン事業」の概要はどのようなものか。

**観光企画課長** この事業は、本県への観光客誘致と県内消費の喚起を促すことを目的としており、具体的には、県内の宿泊施設などで利用できる、購入額と同程度のプレミアムを付けた宿泊券を販売することにより、利用者の方にお得な料金で宿泊していただくものです。なお、販売方法は全国チェーンのコンビニなどと連携を図り、全国からの観光客の来訪につなげていきたいと考えています。

**秋山委員** プレミアム付き宿泊券の販売を好機と捉え、観光客への「おもてなし」として、町中を花でいっぱいにするなど、リピーターを確保するための地域の取り組みを促進すべきと思うがどうか。



館山駅から出発する高速バス

とが想定されます。特に近年は、ゲリラ豪雨や突風など局所的な災害も多くなっており、この場合、被害額が10億円を超えなくても柔軟に対応していただくよう要望します。

## 鉄道で楽しむ千葉の旅

**秋山委員** 旅行を楽しむ移動手段には、鉄道をはじめ、マイカーや観光バスなどさまざまあります。その中で「鉄道」の旅は、海岸線や里山ののどかな風景を移り行く車窓から眺めたり、地域ならではのグルメやお酒を味わうなど、独特の楽しみがあります。

最近の動向として、「個人の価値観の多様化」や「こだわりの旅の拡大」「シニアマーケットの拡大」などが挙げられています。そこで、「鉄道で楽しむ千葉の旅」観光プロモーション事業があるが、その概要を伺いたい。

**観光誘致促進課長** この事業は、これからJRをはじめとする鉄道事業者と協賛を進めていく段階ですが、特別列車の運行やローカル

**秋山委員** 外国人旅行者にも、大いに千葉県の観光地を訪れていただきたいわけですが、外国人観光客を県内に呼び込むためには、公共交通機関の多言語対応が必要と考えますが、実現の進捗はどうか。

## 観光地の多言語対応

**交通計画課長** 今回の「成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業」に際しては、多言語化により、外国人旅行者にもストレスなく利用していただけるよう取り組んでいます。



館山産のいちごを知事にPR